

前立腺癌の画像に関する研究

「3 テスラ MRI での前立腺癌検出に影響する因子の後方視的検討」について — 平成 24 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間にロボット支援下前立腺全摘除術の 治療を受けられた方へ —

研究責任者 獨協医科大学病院 放射線科 教授 楫 靖 (かじ やすし)
研究分担者 獨協医科大学病院 放射線科 助教 稲村 健介 (いなむら けんすけ)
研究分担者 獨協医科大学病院 泌尿器科 教授 安士 正裕 (やし まさひろ)

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護のため個人情報削除した形で研究を進めます。本研究への協力を望まれない患者さんは、研究責任者（本書類の最後に連絡先あり）または泌尿器担当医までご連絡をお願いします。

1. 研究の目的 及び 意義

前立腺癌を見つける画像検査としては MRI が最も優れていますが、全ての癌が見えるわけではありません。前立腺癌のうち MRI で見える例と見えない例の特徴を調べることで、ちょうどよい時期に MRI 検査を予定するなど、今度の前立腺癌の診療に役立つことが期待されます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成 24 年 10 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日の間に獨協医科大学病院 泌尿器科において、ロボット支援下前立腺全摘除術を受けられた方のうち、当院で治療前に MRI 検査を行われた方を研究対象とします。

2) 研究実施期間

平成 29 年 3 月 15 日 ～ 平成 29 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記 1) の研究対象者について、研究者が診療情報と前立腺 MRI 画像の関係について分析し、どのような因子が MRI での前立腺癌の描出（見えるか見えないか）に影響を与えるか、について調べます。なお、本研究は獨協医科大学病院生命倫理委員会の承認を得ています（承認番号 28191、承認日平成 29 年 3 月 11 日）。

4) 使用する試料・情報

研究責任者 1 名と研究分担者 2 名が、研究に使用する試料・情報としてカルテから以下の情報を抽出し使用いたします。

・年齢、過去の前立腺疾患に対する治療歴、血清 PSA 値、前立腺生検および摘出された前立腺の病理学的な情報、前立腺 MRI の画像データ

なお、あなたの個人情報は削除し、匿名化して、プライバシーを保護します。

5) 試料・情報の保存

本研究に使用した試料・情報（診療情報のコピー、画像のコピー等）は、研究終了後5年間保存し、その後廃棄します。あなたの診療に必要な情報がなくなるわけではありませんので、ご安心ください。

6) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

7) 研究成果の取扱い

この研究の成果は、あなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表する予定です。

8) 問い合わせ・連絡先

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成29年7月31日までの間に、泌尿器科担当医または下記にお申し出ください。ご了承いただけない場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

獨協医科大学病院 放射線科

氏名：楫 靖（かじ やすし）

電話：0282-87-2171（水曜日を除く平日：9時00分～16時00分）